

令和6年度 第2回 明浜小学校学校評価アンケート集計結果

評価について・・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
1	教	保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	6	3	0	0	0	92%	86%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習している	62	20	0	1	0	93%	91%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる	20	34	3	0	1	82%	81%
	分析改善	教職員が6ポイント増加し、計画的に保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。また、保護者が1ポイント、児童が2ポイント増加した。今後も、保護者や地域と連携した教育活動を進めるとともに、活動の様子を保護者や地域に情報を発信していく。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	5	4	0	0	0	89%	81%
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	71	12	0	0	0	96%	96%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	33	16	9	0	0	85%	81%
	分析改善	教職員が8ポイント、保護者が4ポイント達成率が増加した。教職員が、授業の充実と休み時間の児童との関わりができてきていると考える。保護者の中に「C」評価が9名いる。「A・B」評価になるよう、児童の学習や生活を充実させる。また、児童の様子をしっかりと情報発信していく。							
3	教	授業の中で、児童が主体的に発表する場面を設定している	6	3	0	0	0	92%	92%
	児	自分から進んで授業や家庭学習に取り組んでいる	48	29	6	0	0	88%	87%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	11	33	11	3	0	72%	71%
	分析改善	日々教材研究し、ペア学習やグループ学習等、発表の場の工夫とICT機器を効果的に活用し、どの児童にも分かる授業を心掛けた学習展開をしている。児童、保護者とも達成率が1ポイント増となり、教職員の取組が評価につながったと考える。児童、保護者に「C・D」評価もあるため、児童が意欲的に学習し自信を持って発表できるよう、教職員一人一人が自己研鑽に励む。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	7	2	0	0	0	94%	94%
	児	決められた時間の家庭学習をしている（低20分、中40分、高60分）	55	25	3	0	0	91%	92%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	20	33	4	0	1	82%	79%
	分析改善	教職員は、家庭学習習慣の定着や向上に努めており、教職員と保護者の連携が取れている。児童の達成率は下がったが高評価である。保護者の達成率は、3ポイント増加し家庭での学習習慣の定着・向上が見られる。今後も、家庭学習・生活調べの結果を活用し、家庭とより連携した取組を行う。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	7	2	0	0	0	94%	94%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	58	16	8	1	0	89%	88%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	16	25	14	2	1	74%	72%
	分析改善	児童、保護者の達成率が増加した。目標を達成するよう児童へ声を掛け、利用しやすい図書室の環境づくりを心掛けていく。また、あけはま座による読み聞かせを通して本のよさも理解している。今後も達成率が100%になるよう声掛けや時間確保を行ったり、家庭学習・生活調べの結果を通して、学校と家庭の連携を深めたりしていく。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	3	6	0	0	0	83%	81%
	児	先生の授業はよくわかる	69	13	1	0	0	95%	93%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	17	32	6	1	2	79%	77%
	分析改善	全体的に達成率が増加した。これは、教職員が研修を深め、自分や友達の考えを可視化したり、ペアやグループでの話し合いの機会を多く取り入れたりし、意見交流をする授業に学校全体で取り組んだ成果と捉える。今後も、ペアやグループ、全体へと学習形態を工夫し、対話を広げ、練り合うことで分かる楽しい授業となるよう努める。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	5	4	0	0	0	89%	86%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	69	13	1	0	0	95%	95%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	20	30	7	0	1	81%	76%
	分析改善	教職員、保護者ともに達成率が良くなっている。全教職員が共通理解を図り、常に児童一人一人を意識した指導・支援に取り組んだ成果と捉える。今後も児童一人一人に目を向けた指導・支援ができるよう努める。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	7	2	0	0	0	94%	97%
	児	いじめのない学校だと感じる	62	15	6	0	0	92%	87%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	13	34	6	1	4	77%	77%
	分析改善	教職員による毎月の教育相談や学担以外による教育相談、職員会議での情報交換、毎月の「なかよしアンケート」、休み時間の児童との関わり等を通して、全教職員がいじめの早期発見・早期対応に努めている。また、スクールカウンセラーによる相談の場を設定して相談もしている。「C」評価の児童には、個人的に話を聞き、いじめと思われる内容はない。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、すぐに対応する体制を継続する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。							

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	8	1	0	0	0	97%	94%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	62	20	1	0	0	93%	93%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	21	33	3	0	1	83%	78%
	分析改善	教職員、保護者の達成率が高くなった。十分に思いやりを持って仲良く生活できている。保護者が5ポイント増加しており、学校生活が落ち着いていると考える。今後も全校遊びや異学年交流、教育活動全体を通して、さらに児童、保護者の達成率が増加するよう努める。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	4	4	1	0	0	83%	86%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	66	15	2	0	0	94%	94%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	26	29	2	0	1	86%	77%
	分析改善	教職員が3ポイント減少した。しかし、保護者が9ポイント増加した。これは、教職員が日頃の教材研究や授業展開で児童同士での練り合いや認め合える学習に努め、道徳科を中心とした教育活動全体において指導が十分にできていると評価していただいた結果と捉える。の成果を継続していく。また、教育活動全体の活動や様子を保護者にも発信し、家庭と共有する。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	4	4	1	0	0	83%	86%
	児	心配なことや悩みがあるとき、大人の人に相談できる	41	31	11	0	0	84%	89%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	23	29	4	0	2	83%	81%
	分析改善	教職員は、前回と比べ厳しく評価をしている。全教職員が積極的に児童や保護者との関わりを持ち、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。児童、保護者に「C」評価があり、相談しにくい児童や保護者がいるようだ。教職員だけでなく、家族に相談できる雰囲気づくりや周りの大人に相談するよう指導・助言する。また、教職員と保護者の連携をしっかりと図っていく。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	6	3	0	0	0	92%	92%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	60	15	8	0	0	91%	93%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	23	30	5	0	0	83%	84%
	分析改善	全教職員が率先して挨拶を心掛けている。児童の意識の変化が見られ、元気のよい挨拶ができています。しかし、児童は十分でないと考えている。保護者が1ポイント減少しており、家庭とも連携して挨拶運動に取り組みたい。また、家庭や地域でも元気よく進んで挨拶ができるよう今後も指導していく。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	8	1	0	0	0	97%	94%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	73	10	0	0	0	97%	96%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	23	30	5	0	0	83%	80%
	分析改善	教職員、児童、保護者の達成率が増加した。児童、教職員は、高い達成率となっている。教育活動全体を通して、告知なしの避難訓練や定期的な避難訓練、日常の安全点検などを積極的に行っている。また、命の大切さについては、道徳科を中心として児童とともに考える時間を設け、実践へとつなげている。今後も計画的に訓練をし、自助共助の精神を育てていく。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	5	3	1	0	0	86%	86%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めた	6	3	0	0	0	92%	92%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めた	5	3	1	0	0	86%	81%

自由記述

保護者	<p>トラブルの時は話をよく聞いてほしい。一生懸命子育てしているつもりですが、要求ばかりされると、悩むことが多いです。</p>	<p>できる限り児童との関わりを多く持てるよう全教職員で対応している。家庭との連携を密にし、要求ばかりにならないよう学校も気を付けていく。 児童の命やいじめ、生活習慣等は厳しく指導していく。保護者と協力して対応することで児童の健全育成がより効果的である。</p>
	<p>こどもは担任の先生をとっても信頼しています。先生はベテランで的確なアドバイスをしてくれ、親としても安心しています。</p>	<p>大変うれしい感想をいただきありがたい。若手からベテランまで日々自己研鑽に励み、信頼できる教職員集団である。今後も一生懸命に児童の指導にあたる。</p>
	<p>学校で撮った写真を購入できるようにしてほしいです。たくさんクラス写真を撮ってもらっているのに、残念です。</p>	<p>保護者の要望としてとても理解できるが、活動の記録として撮っている。また、個人情報保護の観点からも販売することは考えていない。 できる限りホームページや学年通信、学校だより等で掲載する。</p>
	<p>タブレットの生徒側の使用状況を再確認してください。動画ばかり見ることが多く、なぜ宿題もないのに持って帰らせるのか。</p>	<p>持ち帰りについては、宿題だけでなく、調べ学習や自主学習など、児童が自主的にパソコンを使うことも考えられる。 児童の学習以外の使用については、学習以外で使用しないよう指導している。家庭での使用については、家庭の協力をお願いしたい。</p>